

## 第7回総合球技場基本計画検討委員会 議事録

日 時	平成31年3月20日（水）15：00～17：00
場 所	山梨県庁防災新館302会議室
出席者	（委 員）清水委員長、飯沼委員、佐久間委員、佐藤委員、土屋委員、 長倉委員、布施委員、傍士委員、松野委員、三ツ谷委員 （山梨県）総合政策部長、総合政策部理事、総合政策部次長、リニア環境未 来都市推進室長、エネルギー政策課長、都市計画課長、スポーツ 健康課

### 1 開会

#### 事務局

本日はご多忙のところ、誠にありがとうございます。第7回総合球技場基本計画検討委員会を開催いたします。本日は竹内委員が所要のためご欠席です。

### 2 総合政策部長あいさつ

#### 事務局

委員会の開催にあたり山梨県総合政策部長よりご挨拶申し上げます。

#### 総合政策部部長

委員の皆様方には年度末の大変お忙しいところ、ご出席をいただき誠にありがとうございます。この委員会では、これまで現地調査を含め、球技場本体のみならず付帯機能や小瀬スポーツ公園との関係、事業手法などについて委員の皆様の見解をお寄せいただいたところがございます。本日はこれまでの意見を取りまとめた報告書について忌憚のないご意見を賜りたい。実り多い検討委員会になるようお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

### 3 委員長あいさつ

#### 事務局

続きまして、清水委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。

#### 委員長

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。委員の皆様にはこれまでそれぞれ専門のお立場より多面的な視点から総合球技場の運営手法などについて熱心に議論していただいた。本日はとりまとめの報告書がテーマということで、忌憚のない御意見を賜りたい。よろしく申し上げます。

#### 4 議事

(1) 総合球技場基本計画検討委員会報告書(案)について

##### 事務局

それでは、次第4の議事に移らせていただきます。委員会設置要綱第4条第1項の規定により清水委員長に進行をお願いしたいと思います。

##### 委員長

本日は報告書(案)を中心に議論していただきたい。報告書は3月28日に知事へ提出するものである。報告書は5章で構成されているが、全てを一度に説明していただくのも大変なので、第1～3章、4～5章の2パートに分けて事務局より説明をしていただきたい。

(報告書(案)第1～3章について事務局より説明)

##### 委員長

それぞれわかりやすく説明いただいた。以上3章まで、気づいた点やご質問をお願いしたい。

##### 委員

大変充実した施設ができるのではないかと期待をしている。これだけの施設をきっちりつくと経費もかかるため、実際には優先順位をつけて建設されるのだろう。地域のために喜ばれる施設になればよい。36ページのイメージパースについて、横から強風の時に雨が吹き込むことがあるのではないか。

##### 事務局

イメージパースを他の委員に事前にお見せした際にも同様のご意見をいただいた。イメージということでこういった形でお示しをしたが、今後風・雨の対策はとらせていただきたい。

##### 委員長

ちなみに方角はどのようになっているのか。

##### 事務局

南東側から俯瞰したイメージになる。一番下に通っているのが新山梨環状道路になり、奥に現在の中銀スタジアム、左側に武道館があり、北側は甲府の主な山並みを表現している。

## 委員

2点申し上げる。12～13ページの新山梨環状道路について、道路は何年に開通するのか。スタジアム建設前に完成しているのか。

もう1点は、前回の会議の際にも意見を申し上げたが、34ページの階段が4つある箇所で、「コンコースへのスロープの設置については、設計段階で検討する。」とあるものの、階段を補足するためのスロープというよりも、コンコースをウォーキングコース・ランニングコースとして設置する計画にもなっているので、一般利用として、デザイン性に優れたスロープを導入してもらいたい。それを山梨のスタジアムのモデルにさせていただきたい。障害者の方々だけのスロープではなく、混雑時にも子どもと一緒に手を引いて歩けるような広いコンコースでそのままスロープで降りられるようにさせていただきたい。

## 事務局

新山梨環状道路については、落合西ICまでは比較的早い時期に開業される予定。落合西ICから北については、2027年のリニア開通に合わせ、この区間だけではなく、国道20号線の石和付近に接続する計画であり、総合球技場とどちらが早いのか現時点でははっきりしていない。また、以前よりご意見をいただいていたスロープについては、28日の提出までに修正可能であればそうさせていただくが、技術的な問題もあるので一旦預らせていただきたい。

## 委員

規模については、先日のJ2リーグのヴァンフォーレ甲府対V・ファーレン長崎戦で観客が1万5千人を超えている状況を踏まえると、皆の笑顔が失われないためにも、実績から見て2万人が妥当ではないかと考える。

## 委員長

これまでの試合の中でも1万5千人というのはかなり多い方なのか。

## 委員

前回のホームゲームの開催にあたっては、クラブ関係者が危機的な意識をもち取り組んだこともあり多くの方にご来場いただいた。開幕戦としてはJ1の時代を含めても過去最高の動員であった。

## 委員長

最近の実績として報告書に入れてよいのではないかと。

## 事務局

例として記載することは可能かと思われるので検討したい。

## 委員

3ページに「山梨のランドマークとして、本県の魅力を発信するものであること」とあり、その下の「(2) 取組み方策」ではかなり県民を意識している。さらに27ページには桜をテーマにしたイベントの記載がある。都会からほんの2時間で美しい緑や綺麗な水に囲まれた山梨の魅力を存分に味わうことができ、憩いの場として楽しんでいただける施設になることをもっと強くアピールしたほうがよいのではないかと。どこに盛り込むのが難しいが、例えば30ページの付帯機能に盛り込むのはどうか。スタジアムを中心として、計画地全体を総合的にプロデュースするように山梨県の良さを存分に引き出せる場所として打ち出したほうがよいだろう。

## 委員長

どこに盛り込むのか悩ましいが、大切な視点である。

## 事務局

小瀬そして施設、土地柄についての魅力を詳しくまとめて記載できないかというご指摘であるが、30ページの施設構成に記載するのは難しいが、改めて3-7の後などに項目として新たに設けて記載できないか検討をさせていただきたい。

## 委員長

或いは27ページの山梨らしさに盛り込むのはいかがか。

## 事務局

たしかに小瀬スポーツ公園全体の賑わいの中で、山梨県という部分を取り出して、これまでいただいたご意見をまとめられればと思いますがいかがでしょうか。

## 委員

2ページのコンセプトに盛り込んでどうか。「スポーツ愛好家にとどまらず、誰もが利用できる「県民みんなの球技場」として」は、抽象的で過不足はない表現だが、あまりオリジナリティーを感じられない。27ページで「スポーツ×アート、スポーツ×健康、食など」がキーワードとして示されているが、他の球技場を視察に行っても立派なラウンジはあっても調理できるような火力がないところが多い。特に山梨には都内のようなお洒落な高級ホテルやレストランなどが少ないが、クオリティーの高い食を提供できるならばスタジアムを新たに「食」の価値を提供する場とする可能性はかなりある。高火力という施設もキーワ

ードとしてどこかに盛り込んでいただきたい。食もランドマークと同様にもう少し強調してもよいだろう。

#### **委員長**

コンセプトであれ27ページあれ山梨の良さ表す言葉は何度でてきてもよいだろう。

#### **委員**

委員の意見に大賛成である。そういうことを2ページのコンセプトに入れるのが大事。箱物はハードが目立ちやすいが、そこに書かれてないものがとても大事である。例えば食などの具体的な話は後に盛り込むのはどうか。コンセプトには、人が沢山来ることや経済的にも右肩上がりということばかりが強調されているが、そういう時代は過ぎた。心の充足のためにお金はかからないが、そこに行く楽しいというようなこともコンセプトに盛り込んでどうか。

#### **委員長**

今回の総合球技場は物語を持って地元を元気にする、そういったことを強調するべきだろう。

#### **委員**

この前読んだ本で地方のどこにでもあるスナックがなぜ流行っているのかという記事があった。県民が参加できるようにと考えると、東京の銀座のクラブのようなものをここに求めるよりも、余白のあるスナック、つまり常連客が放っておけないお店で手伝いたくなるという仕組みが重要である。そういうスナックはお客参加型のビジネスなのだろう。余白の必要性は書く話ではないがどこかに確保しておくほうがよい。そこをむしろできあがった後でも地元の人なりみんなでどう参加するかを検討する。意図的ではないが未完成の状態があってもよいだろう。

#### **委員長**

最近色々な老舗の酒蔵で人を呼び込めるようになったと聞く。量や質ではなく余白の必要性、クエストが求められる時代になった。言葉で表現するのは非常に困難であるので、今後、県民に周知する際にはそのようなことを強調してもよいだろう。

#### **委員**

「施設整備の基本的な考え方の整理」になるので、このような整理になったと理解している。周辺のまちづくりをどのようにしていくかのスタジアムのあり方の観点であれば、皆さまの意見がコンセプトに反映されるだろう。

## 委員

余白の必要性という点では、県として「このスタジアムで何を表現していきたいのか」が大切であり、スカイボックスやビジネスラウンジの使い方は非常に重要である。これほどスカイボックスやビジネスラウンジのスペースを確保したスタジアムは国内にはほとんどないため、今回のスタジアムの目玉になるだろう。

アメリカのメジャーリーグのスタジアムの調査では最近のスタジアムは、チケットの種類を多様化させて、更に単価を上げる施策をしている。スタジアムの規模（量）ではなく質を高めるという方向性にシフトしている。

また、試合のない日でも山梨県特有の食や自然を利用してスカイボックスやビジネスラウンジをうまく活用することもスタジアム運営のポイントになるだろう。

さらにもう一点、22ページから「3-3. 環境共生の考え方」として環境面で色々と記載されているが、県民負担の最小化というコンセプトがあるなかで、支出の最小化はもちろんだが、スタジアムをつくることで、環境や防災対応など、他で同じ活動をしようとする場合と比較し行政負担が下がることをアピールしてもよいのではないか。

## 委員長

海外の球技場との比較で、専門的なご意見をいただいた。スカイボックスやビジネスラウンジは、当初から考えられていたものなのか。

## 委員

ホームクラブがどのようにおもてなしをして観客を満足させるのかという観点に、量より質という視点が入ってきたことは間違いない。その仕様は、テナントである各ホームクラブと、それぞれの地域事情による。例えば大企業が多い都市では、スカイボックスもビジネスラウンジも広い部屋を設け、一室当たりの価格を高くして販売する。一方、ヴァンフォーレ甲府のビジネス環境であれば、単価の安い小さなスカイボックスを数多く売るのかもしれない。そういった地域事情にあわせて整備をして、なおかつその部屋が防災拠点になっている。暖が取れて、食もありトイレもシャワーの機能もある。これまでの体育施設とはまったく視点が違う。現在では、建設当初からそれぞれの事情やクラブのニーズを伺いながら設計をしているのが実態である。

## 委員長

様々な施設を見てきた中で、後発効果として、後で整備する施設の方が色々な事例を勉強して取り入れることができるので、そういう意味ではかなり当初から計画性があると考えられるのではないか。

## 事務局

たくさんのご意見をいただきありがとうございます。物語性をコンセプトにキーワードとして入れることは検討をさせていただきたい。環境、防災について、他で使わないといけない防災機能をスタジアムで賄うことで、県全体としての経済コストの削減できることについても検討していく。

## 委員

知事も変わって、全体を見直す記事もあったが、つくるとなると費用もかかり県民負担になる。ビジネス的な観点から国際展示場などをアピールしてもよいと考える。

## 委員

非常にわかりやすい資料にいただいた。計画をどのように具体化していくかが重要である。その過程で様々な意見を聞き、とりまとめていくことでイベントや使い勝手のアイデアなど、ハードに現れてくるのだろう。

## 委員

4ページの利用イメージだが、高齢者とeスポーツは一般にはイメージしにくいのではないかな。むしろ、生涯学習講座など教育利用の観点を入れることが重要ではないか。それに関連して21ページの必要諸室の「○会議、集会、研修会などでの利活用が可能となるよう検討」にも生涯学習講座を含めることは大事だろう。

## 委員長

生涯学習などは入れる必要があるだろう。

## 事務局

高齢者のeスポーツは、最近高齢者でもeスポーツに関心のある人がいることは承知しており、もう一度検討させていただきたい。附帯施設には生涯学習や文化的な利用を含めたい。21ページの諸室の利活用についても検討させていただく。

## 委員長

生涯に亘って学び続けることが人生100年時代の合言葉になりつつある。是非生涯学習を含めていただきたい。その他にご意見がなければ、4～5章に移らせていただく。

(報告書(案)第4～5章について事務局より説明)

## 委員長

第4～5章については、今日初めて目にする部分もある。なお第5章の建設費用と既存改修コストについては、現在の建築物価等から類推するに妥当であるとのご意見を竹内委員より事前にいただいているとのことである。

## 委員

3つ申し上げたい。43ページのネーミングライツ収入に（県の直接歳入）と書いてあるのはどうなのか。これは万国共通ではない。アメリカではネーミングライツの価値を高める主体の収入になるのが一般的である。日本だけ自治体が歳入にしてしまっている。しかし、自治体がここで価値を高めようとはしていないので、あえて書く必要はないのではないか。

2つ目は、参考の改修コストの85億は最低でもこれだけ必要ということか。

最後に、ふるさと納税よりも多様な資金調達として、県民以外からも寄附を募って、寄附してくれた人の名前をスタジアムに貼りつけることをヨーロッパだけでなく、吹田、北九州、京都でも実施している。そのようにしたら県民参加のイメージを体現できるのではないか。この寄附も確定申告をすれば減税される。

## 事務局

県の直接歳入については、中銀スタジアムがそのようにしているので書かせていただいたが、確かにスタジアムの価値を高めるのは所有している自治体ではなく、今後運営をしていく方達であり、また、最終的にPFIを導入した場合でもネーミングライツの扱いが決まっているわけではない。今後の検討で決めていくことなので、現時点では削除する。

44ページの改修コストについては、Jリーグが目指す理想のスタジアムの要件の一つであるフットボールスタジアムではなく、陸上トラックが残ったままの臨場感がないものとした時であっても最低でもこれくらいはかかるという試算である。

個人の寄附についても記載するようさせていただく。

## 委員長

その他いかがでしょうか。45ページの見込まれる期間の6年というのは他事例と比較すると妥当なのか。

## 事務局

他事例については、規模や土地の状況など場所によって異なる。若干幅をもたせた期間になっているが、今後の事業手法、建築手法等によって期間は変わってくるものと思われる。

## 委員

38ページの収支改善に向けた取組みについて、民間事業者の創意工夫の提案を受ける想

定で記載されている。その後の部分で40ページで想定される事業手法となっているが、この順番だと38ページは県「が」取組むのか委託先「が」なのか認識が困難である。事業手法で民間を活用することを記載した上で38ページを記載すべきだろう。県としての収支改善の取組みと捉えられかねない。文章の書き方を変更するか順番を変えてはどうか。

## 委員

現在の概算事業費は、基本的にはまず自治体がスタジアムをつくって、ある程度運営をする中で他施設の事例を踏まえるとこれくらいの費用がかかるというものである。この前提を踏まえて更にPFI手法等を導入し民間を活用することで、維持管理費が下がりコストを削減できるということが書かれているのだろう。

情報提供ではあるが、海外で自治体が建設している事例では、その後の地方税の税項目を追加している。例えばホテル税、チケット税、レンタカー税など、なるべく地域の住民の方々の負担を下げて、試合で訪れた観客に直接払ってもらえるような税項目を追加して建設費の回収に充てている。そういったところである程度の事業費も賄えていく。但し、日本では法的な規制が異なるため、十分な検討が必要である。

## 事務局

ご指摘ありがとうございます。ご指摘のとおり、40ページの事業手法の記載が出る前に、38ページで民間事業者という書き方となっている。43ページの「(2) 運営事業収支」については他施設を参考にしたベースで、更に38ページでの取り組みにより収支改善を図るという考えであり、ここについてはわかりやすいように再度整理をさせていただく。

## 委員長

主体は、管理運営は県で、後から民間事業者になるような方向性である。

## 委員

山梨らしさ甲府らしさを出していければよい。地方に行ったときに「東京と同じ最先端のものができました」と聞くと、本当にかっかりする。地域らしさを十分検討したうえで、アピールポイントにしていくことが重要である。

## 委員

3章までで、みんなの球技場という考え方や山梨らしさがある。より具体的な議論があって、4章以降の経営の方法論につながっていくことになる。小瀬のなかでの球技場の果たす役割として、相乗効果として中銀スタジアムなどが有効に使えることも加味をしながら4章以降の検討につながれば良いだろう。

## 委員

43ページの整備施設概要のなかで、「観客席（VIP、ビジネス）500席～」と記載されており、全体の席数のうちの2.5%くらいになっている。

ヨーロッパにおいて最近新設・改修されたスタジアムでは、VIP・ビジネスの座席の比率は少なくとも5%程度はあり、多いところでは14%もある。また、アメリカのメジャーリーグでも、2000年以降に新設・改修されたスタジアムにおけるVIP・ビジネスの座席の比率は約8.5%になっている。

このような現状のなかで、500席を是とするかは今後の議論になるだろう。この比率を上げると席単価も変わるので、収支シミュレーションをする際のポイントになってくるだろう。

## 委員

ネーミングライツについて、固定のネーミングとして山梨やヴァンフォーレなどは必要と考える。それプラス企業名が入るようにしたほうが良いのではないかと。ネーミングライツの企業名だけではどこのスタジアムかはわからない。

## 委員長

大切な点である。また先ほどの500席の件は留意いただきたい。報告書に関するご意見は以上にさせていただく。本日のご意見を踏まえ事務局で修正点をまとめていただきたい。まとめていただいている間に、委員の皆様からお一人ずつ、これまで委員会に御出席いただいた中での感想等を自由に言っていただければと思います。

## 委員

ラグビー協会から女性目線に参加させていただいた。専門の先生方のなかで、様々な考え方があるということで勉強させていただいた。臨場感溢れる球技場として、この球技場ができてよかったと県民の皆様が声を揃えて言えるような球技場ができることを願っている。

## 委員

ヴァンフォーレ甲府の立場ということでは無く、サッカー界を代表して出席させていただいた。山梨のサッカー関係の皆様にとって、そして老若男女、同時にスポーツの皆様にとっての球技場である。そんな方々の有益になることを願って参加させていただいた。予算を確保するには toto の助成が非常に大きなウエイトを占めるだろう。toto の確保には都市計画決定が必要になるだろう。この委員会が終わって報告書を提出していただき、最終的に知事がどう判断するかはわからないが、熱量が冷めないように6年の期間のなかで、できればもっと短期間が望ましいが、多くの方々、特に県土整備、都市計画、用地買収の関係課、そういった皆さまにもお力をいただき総力を挙げて係る方々の人数が減少してしまわない

ように、速度が停滞してしまわないように、引き続き是非同じような熱量でプロジェクトを進めていただきたい。また、皆さまからヴァンフォーレへの激励を頂いたことをお礼申し上げる。そういう意味でも、必ずJ1に復帰できるようがんばりたい。

## 委員

基本構想策定、基本計画策定、両方参加させていただくなかで、皆さまとご議論させていただきありがとうございました。県事務局の皆さまの熱意も非常に感じられた。様々な自治体の会議に参加をしてきたが、こちらでは毎回メディアの皆さまが大勢取材をされて、議論が日々報道されており、山梨県は非常に開かれていると感じられた。密室のなかで検討するのではなく、みんなでお城を築くのだという進め方は、他の自治体も見習うべきと感心するくらいの委員会であった。このお城がみんなのホームになる、という参画意識が県のなかで広がり、みんなの防災拠点、みんなの憩いの場としての位置付けが染みわたればよい。最終的にはスタジアムの完成はゴールではなくスタート。良いスタートができるように今後もサポートしていきたい。

## 委員

私は山梨県民ではないので山梨県のことを良く知っているわけではないが、調べた知見が少しでもお役に立てばという思いで参加させていただいた。J1, J2のスタジアムそして、ヨーロッパのスタジアムを見て、スタジアム開発においては地域環境との適合性や複合性そして快適性、先進性、効率活用の5つの指標が良いスタジアムを作るうえで重要なポイントになるだろうと提唱させていただいているが、各地のスタジアムを見れば見るほど思うのは、その答えは1つではなく、それぞれのまち、地域に根差したスタジアムというのが良いスタジアムであり、それは、そこでしか作れない唯一無二なものになってくるということ。そして、そのためには様々なステークホルダーの方々が一緒になって推進していくこと、そして皆さまの熱量が大事になってくるだろう。我々も引き続きできる限りのご支援ができればと思っている。ありがとうございました。

## 委員

少しは意見を言える立場であることを改めて感じた。Jリーグの組織ができたのは1991年で、その当時、海外の施設も数多く視察した。そうした経験をしてきたヴァンフォーレの海野氏が小瀬スポーツ公園にこのような施設をつくるということは、大変素晴らしい。日本には長く野球文化があり、今やサッカーが野球と並ぶ大きなスポーツに成長した。長くこの施設が、サッカーだけでなく様々なスポーツで使われるのは素晴らしい。報告書は、すべてを入れ込んだように感じるので、出来ることから一つずつ取り組んでいくことが大事。

## 委員

アメリカンフットボール協会の代表として参加させていただきお礼を申し上げます。清里にアメリカンフットボールの殿堂がある。そこで先輩達がスタジアムをつくる運動をして、現在はグラウンドができていますが、まだ土の状態である。清里は芝生が適していないので牧草になるだろう。今回参加させていただき先生方の貴重な意見を聞いて勉強させていただいた。はやくスタジアムができて素晴らしいグラウンドで大会や子ども達がプレーできることを願っている。ありがとうございました。

## 委員

今日は特急のあずさに乗ってきたが、車のアクセスが良くなると日帰りが可能になるので、アウェーリズム上よくないのかもしれない。できれば宿泊して帰ってもらいたい。本日配布をした新聞記事は鹿児島島の南日本新聞で以前3年程住んでいた。2013年に客員論説員として社説に新しい鹿児島ユナイテッドのスタジアムをつくる気運を高める記事を書いてほしいということであった。それを書いたきっかけで一面のコラムに引用していただいた。今回は非常に有意義な会に参加させていただきありがとうございました。先ほどから寄附と申し上げているが、最近母校の土佐高校の理事長に就任をしたので、寄附をお願いしますということが仕事になってしまった。山梨の未来である子ども達のホームとしてこのプロジェクトでどんなものを残して、どんなことを伝えていくのかを終始考えていた。夢見る球技場として、はやく立派な絵をだしていただければ全国をまわって寄附を募りたい。今日で終わりでなく県民みんなが議論の思考をとめないで、どんな場所でもスタジアムの話をし続けてほしいと願っている。

## 委員

障害者福祉協会の立場で参加をした。球場やスポーツの専門家ではないが、勉強をさせていただき、お話しもさせていただきありがとうございました。県民の議論が盛り上がり得るだけはやく実現できるように期待をしている。最後に申し訳ないが、本編に県民の利用イメージで障害者の「球技の大会・練習でのピッチ利用」があるので、概要版についても含めさせていただきたい。また、概要版の3ページの「バリアフリー」についてバリアフリーやユニバーサルデザインは全体に係ることなので、「客席までの動線においては」は一つの例示だと思うが、全体にその思想があるということをどこかに記載していただきたい。是非よろしくお願ひしたい。

## 委員

スポーツマネジメントを専門として、普段大学で様々なスタジアムの事例を学生に教えているが、この1年を通して自分自身いろいろと学ばせていただいた。委員がコメントされた新聞記事に「新しい価値が創造される」という言葉があった。私自身もそれを感じている。

まだまだ山梨ではスポーツの価値が限定されている。スポーツをする人だけのものになっている。スポーツは様々な活用の仕方があり、社会課題を解決する鍵にもなり、新しい産業を生み出し、若者の活力を生み出せる。色々な価値がスタジアムから生まれてくる可能性がある。そういったことが多くの県民にはイメージできていない。そのようなイメージを皆に伝えられるように努力をしていきたい。スペシャリストである委員の皆さまを集められた事務局の努力にも頭が下がる。皆さまの経験値とネットワークで本質的な議論が1年間できた。またその議論を忠実に報告書に入れていただいたことに関して事務局にも感謝を申し上げたい。清水委員長にはスムーズな進行そしておまとめいただきありがとうございます。

### 委員長

お褒めいただき恐縮ですが、委員の方に恵まれましたとっております。また、事務局の段取りの良さにも感心した。教育の世界でも理念のない改革は失敗するという言葉がある。今回の報告書も基本コンセプトからはじまり理念を明確にした点で内容的にも頭がしっかりしたものだと思っている。来年のオリンピック・パラリンピックに向けた世界的、そして日本国内の動きのなかで、皆さま方と一緒に検討委員会を過ごすことができ得るものが多かった。お礼を申し上げる。それでは、事務局に修正点のとりまとめを報告していただく。

### 事務局

本日は貴重な意見をいただきありがとうございました。可能な限り本日の意見を反映させたい。

- ・ 山梨らしさ、物語性の部分として2ページのコンセプトとあわせて27ページの小瀬スポーツ公園全体のなかでもう一度検討させていただく。
- ・ 4ページの高齢者の項目と21ページに生涯学習を入れるべきとご指摘をいただいたので、そのように記載させていただく。
- ・ 16ページのスタジアム規模のところに、先般のヴァンフォーレ甲府ホーム開幕戦の入場者数について記載をさせていただく。
- ・ スロープの話をもう少しきちんと整理をしてほしいという指摘をいただいたが、パスを変更するのは難しいので、34ページのモデルプランの2階平面図に反映できないか検討する。スロープは階段の倍以上の距離が必要なので、どのような形がいちばんよく表現できるか検討をして修正を加える。
- ・ 38ページの「収支改善に向けた取組み」の位置と民間事業者の表記、事業手法については、どの位置に入れるかが最善なのか検討をする。例えば、43ページの運営事業収支は基本的な類似施設から想定したものだが、更なる運営事業収支の改善に向けたというようにするのか検討をする。
- ・ 43ページのネーミングライツの「(県の直接歳入)」については削除をする。

- ・ 43ページの「観客席（VIP、ビジネス）500席～」の備考に割合などを追加させていただく。
- ・ 44ページに寄附の話を「〇ふるさと納税」の上に、他県等の事例を調べたうえで追加する。

(2) その他

#### 事務局

検討委員会の報告書は修正後、委員長に一任という形でご確認いただいた上で、3月28日(木)に委員長と副委員長に知事へ提出していただくのでよろしくお願ひしたい。

## 5 閉会

#### 委員長

以上で本日予定されていた議事を終了させていただく。来週知事に報告書を提出させていただきます。当委員会では皆さま方の多くの貴重なご意見をいただいた。重ねて厚く御礼申し上げます。今後は報告書を踏まえ県民の意見をお聞きするなかで、是非とも山梨県民が誇りに思えるような球技場ができるようお願いしたい。ご協力ありがとうございました。

#### 事務局

清水委員長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さま方にも7回にわたりご議論いただきありがとうございました。最後に委員会の閉会にあたり山梨県総合政策部長よりご挨拶申し上げます。

#### 総合政策部長

清水委員長はじめ、委員の皆さま方には長時間にわたりそれぞれのお立場からご議論をいただきありがとうございました。一昨年の12月に設置をしてこれまで7回開催をしてきた。これまで熱心なご議論をしていただき、本日報告書としてとりまとめができたことに厚く御礼を申し上げます。本日いただいたご意見については修正を加え、報告書を県として受け取り、それを県民にお示しをし、県民の皆様のご意見を踏まえながら県としてどう進めていくのかしっかり検討したい。これからも様々なアドバイスをいただく場面が多々あるかと思ひますが、是非よろしくお願ひします。